

2050年カーボンニュートラルの実現に向け、県民総ぐるみの県民運動を引き続き着実に展開するため、県民、事業者等が主体的に行う脱炭素の取組みを明示した「カーボンニュートラルやまがたアクションプラン」(R3~R7)について、内容を見直す。

改定方針

- ・ 県民運動の展開や「さくらんぼ未来の地球を守る条例」の制定など **これまでの取組みを踏まえ、取組み内容をアップデートする**
- ・ 「**カーボンニュートラルやまがた県民運動推進会議**」の中に改定検討に向けた**ワーキングチーム**を設け、取組み内容を検討する
- ※ **次代を担う若者の意見を積極的に取り入れる**観点から、「やまカボ・サポーター」等の意見も反映

カーボンニュートラルやまがたアクションプランについて

1 経過

- ・ R2.8月、吉村知事が「**ゼロカーボンやまがた2050**」を宣言。
- ・ R3、「ゼロカーボンやまがた2050」の実現に向けた今後の施策等について、県民、有識者等から構成される会議を組織し、検討。「**カーボンニュートラルやまがたアクションプラン**」として取りまとめた。
- ・ R4に「**カーボンニュートラルやまがた県民運動推進会議**」を立ち上げて以降、年間を通じた普及啓発等の県民運動を展開。

2 アクションプランの概要

(1) 策定の趣旨

2050年カーボンニュートラルの実現に向けて、県民・事業者等が主体的に行う取組みを明示し、それぞれの行動に結び付けるもの

(2) 対象期間

令和3年度~7年度(5年間) ⇒ **改定後：令和8年度~12年度(5年間)**

(3) プランのスキーム(取組みの柱とアクション主体)、アクションの方向性

徹底した省エネの推進	×	家庭(県民)
再生可能エネルギーの導入拡大		産業・事業(事業者)
その他のアクション		公共分野(行政)

未来のために、	かえる	意識を変える、道具を換える、電気を替える、行動を変える	脱炭素アクションを 今、始めましょう
	つくる	エネルギーを創る、地域活力を作る	
	かかわる	自分ごととして積極的に参加する	

【具体的なアクション(取組み内容)の例】

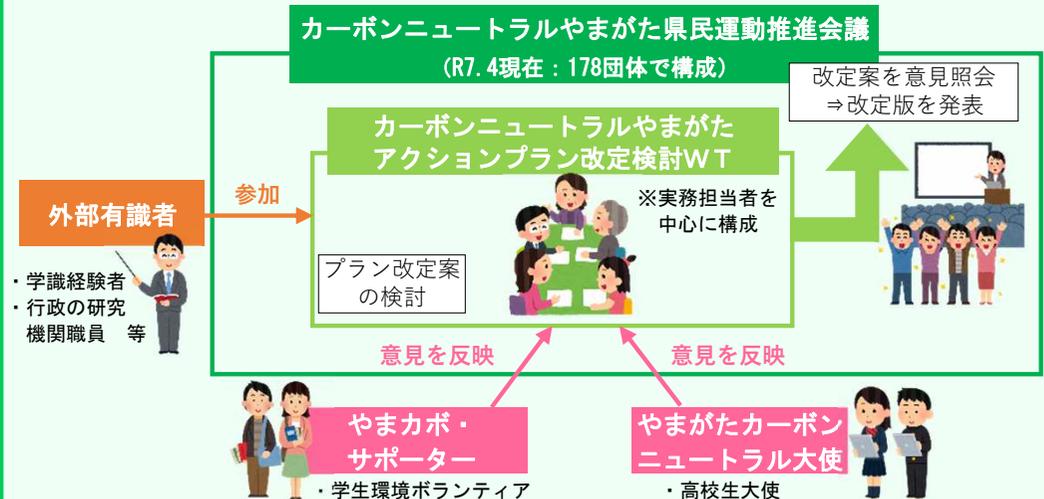
省エネ×家庭	家電の買い換え	省エネ×事業	省エネ診断の活用	} 新たなアクションの追加など、取組み内容をアップデート
再エネ×家庭	再エネ電力への切替	再エネ×事業	再エネ設備導入	
その他×家庭	環境活動への参加	その他×事業	経営意識の転換	

(4) 数値目標(第4次山形県環境計画と共通の目標値)

項目	目標値(2030(R12)年)
やまがた健康住宅の年間新築戸数	360戸/年
環境マネジメントシステムに基づく取組みを行っている事業所	800事業所
全登録車数に占める次世代自動車普及率	50%[243,000台]
民有林における新規間伐面積(R1からの累計)	26,000ha
県内電力総需要量に対する県内で発電された再生可能エネルギーの割合	43.4%

アクションプラン改定に向けた検討体制

- ・ カーボンニュートラルやまがた県民運動推進会議において「**カーボンニュートラルやまがたアクションプラン改定検討ワーキングチーム(WT)**」を設け、取組み内容を検討。



やまカボ・サポーター

県内の大学等を対象に、環境に関する普及啓発活動を行う学生環境ボランティアを募集し、一定の研修を受講した方を、県がサポーターとして登録

やまがたカーボンニュートラル大使

県内小・中・高生によりそれぞれ構成され、環境に関心を持ち、カーボンニュートラルの実現に向けた取組みを実践しているグループを、県が大使として委嘱

アクションプラン改定に向けたスケジュール(案)

- ・ R7.6月 県民運動推進大会にて改定方針・体制(WT)等について説明
 - ・ R7.夏頃 複数回にわたりWTを開催・検討
~R8.2月頃 (骨子案協議 → プラン案協議) }
 - ・ 環境計画改定の検討と連動
 - ・ やまカボ・大使意見を反映
 - ・ R8.3月 アクションプラン改定
- 県民運動推進会議の構成団体へプラン案を提示、意見照会